

地震工学及び危機管理に関する国際シンポジウムの開催

平成 24 年 11 月 18 日、タブリーズにて、地震工学技術協力センターと JICA の共催で、8 月 11 日に発生したイラン北西部地震に関する意識啓発及び技術交流を目的として、「地震工学及び危機管理に関する国際シンポジウム」が開催されました。日本からは、高田神戸大学名誉教授が「地震時における住宅の構造（壊れやすさ）と生存率の関係」、今村 JICA 専門家が「日本の緊急地震速報」、ショウ JICA 専門家が「防災意識の向上と防災教育」について講演しました。約 280 名を収容するホールは大学関係者及び研究者等で満席となり、講演後には活発な意見交換が実施されました。



講演をする高田名誉教授



会場の様子



講演をする今村 JICA 専門家



講演をするショウ JICA 専門家